

第 192 回ペン川柳（お題＝歩く・歩む）令和 2 年 5 月 25 日

世話人：塚田 實（^{ただ}拿々）

5 月も投句会を実施しました。

（*印は今月の互選六句、*は最優秀二句）

- * 1. 卒寿越え歩くことすら卒業し（不言＝岩崎）→ 3 票
90 歳を超え、歩くのが段々辛くなってきたのでしょうか。川柳の腕は落ちていません。優秀句に選ばれました。
- 2. 耳打ちが独り歩きで週刊誌（損得＝細谷）→ 5 票
よくある話ですね。「ここだけ」が一番拡散しやすいと言います。「独り歩き」は名詞使いなので、5 票を得ましたが、残念ながら選外としました。
- 3. 歩み来て業火燻る八十路かな（晃二＝安藤）→ 1 票
傘寿おめでとうございます。奥ゆかしい川柳ですが、作者の人柄からして、業火がくすぶるようなことはあり得ません。
- 4. 歩くこと許されぬ日々コロナ風邪（我々好＝浜田）→ 0 票
コロナ禍による外出自粛で歩くことが難しくなっています。素直な川柳ですが、もう一ひねり欲しいところです。
- * 5. 悔しいが前歩く妻追いつけぬ（酩帝＝曾山）→ 4 票
その気持ち良く分かります。悔しいですね。情景が目浮かぶようです。優秀句に選ばれました。酩帝さん好調ですね。
- 6. 色と金際を歩いて枯れすすき（井波＝稲宮）→ 2 票
「色と金」の際を歩くとは、意味深い表現です。その結果が「枯れすすき」だったんですね。歌謡曲の「船頭小唄」を思い出しました。それとも「昭和枯れすすき」でしょうか。いずれにしても花が咲かなかったということでしょうか。
- 7. 徘徊と言われそだよ街歩き（拿々＝塚田）→ 6 票
6 票もの得票を得ましたが、これも残念ながら名詞使いでしたので、選外としました。「徘徊と言われるほどに街歩く」としておけば良かったと、作者は反省しきりです。
- 8. 出世道歩んだ末に振り込んだ（安兵衛＝山縣）→ 2 票
人生順調にきて出世街道を歩んでいたのに、最後に間違いを起こしたか、失敗してしまったようですね。これもよくある話です。「百里の道も九十九里をもって半ばと思え」という言葉もあります。
- 9. 書は捨てよ右脳で歩け旅の街（明迷＝八木）→ 2 票
「書を捨てよ、町へ出よう」は寺山修司の評論、戯曲、映画です。「ペン川柳子の左脳は充分右脳化しているので、意味ないかもしれません」とは作者評です。

10. 走り梅雨犬も歩けば食あたり (火酒＝三春) → 0 票
「走り梅雨」は初夏の季語です。そこで犬が歩けば「棒に当たる(幸運に恵まれる)」ではなく、食に当たっちゃったのですね。これから夏に向かうので、我々もコロナ禍によるテイクアウトの時は気を付けましょう。
- * 11. 巣ごもりだ世界遺産を目で歩く (零門＝松谷) → 3 票
コロナで家に閉じこもることが多くなっています。買ったか録りためたかの世界遺産の映像を観るととても良い機会です。実際に訪れているかのような「目で歩く」が効いていますね。優秀句に選ばれました。
12. 歳重ね歩く速さは反比例 (酔雅＝西川) → 2 票
歳を重ねるとともに歩く速さが遅くなるのは、仕方ありませんね。まずは安全第一です。遅くても歩き続けることが大事です。
13. 上級も歩けば当たる高齢車 (晃二＝安藤) → 1 票
池袋での事故からもう1年経ちました。上級とは上級国民(元工業技術院長)を指すそうです。これも「犬も歩けば棒に当たる」を下敷きにしているそうですが、あの事故は暴走ですね。高齢者の運転は気をつけましょう。
14. 下向いて歩いているさ九ちゃんは (明迷＝八木) → 2 票
「上を向いて歩こう」はリリースされて59年も経つんですね。海外では「SUKIYAKI」と呼ばれたこともあります。お盆の悲劇的事故から35年です。みんなに愛された九ちゃんは、天国で世の中の動きを眺めているのでしょうか。
15. 新緑をめつつ歩むも伴と距離 (我々好＝浜田) → 0 票
「伴」は男でしょうか女でしょうか。いずれにしても、ソーシャルディスタンスを取らなくてはならないなんて寂しいですね。コロナ禍の早期終息を願います。
- * 16. 徒歩五分歩いてみれば十五分 (だし＝大野) → 6 票
不動産の広告によくありますね。五分と十五分では大違いです。五分なら駅から近くて至便ですが、毎日十五分はちょっと辛いです。倍かかるというのはよくありますが、3倍とは許せませんね。最優秀句に選ばれました。
17. 陸軍は「歩け・歩け！」とアメリカまで (不言＝岩崎) → 0 票
戦争中の厳しい状況が目には浮かびますね。筆者はかつてフィリピンのバターン半島を訪れたことがあり、捕虜になったアメリカ兵を長距離歩かせ多数の死者が出た、所謂「バターン死の行進」の道を車で辿ったことを思い出しました。平和を祈るばかりです。
18. 日台韓が新型コロナで歩み寄り (損得＝細谷) → 1 票
新型コロナウイルス問題では、台湾と韓国が先進的取り組みに成功したと言われています。台湾からはいち早く支援を差し伸べられました。課題の多かった韓国とも在外国民の搬送で協力したり、隣国同士の助け合いに期待が持てました。良い方向に発展してほしいですね。

- * 19. 肩で風いまは歩くに息を切る (火酒＝三春) → 6票
若い頃は肩で風を切って颯爽と歩いていましたね。今回歩く辛さは多くの川柳子が詠みました。賛同する人も多く最優秀句に選ばれました。でも歩くことが大事です。息が切れても歩きましょう。
- 20. 次期選挙歩く姿は百合のよう (井波＝稲宮) → 2票
コロナによって、小池都知事のテレビでの露出が目立ちますね。再び国政に挑戦するか、都知事再選を狙うのか、注目が集まっていたましたが、どうやら都知事を選んだようです。
- 21. あっ美人歩きスマホも顔を上げ (拿々＝塚田) → 2票
この句も「歩きスマホ」は名詞使いでした。投票して頂いた方申し訳ありません。反省して、今後の活動に活かします。
- 22. 一生を亀の歩みで貫いた (酪帝＝曾山) → 0票
「亀の歩み」も名詞使いでした。「うさぎとかめ」の話からすると、亀は着実に歩み、最後は成功したということですね。
- 23. 解除して選挙目当てに歩き出せ (安兵衛＝山縣) → 0票
世界中選挙を控えている国は解除を急いでいるとの作者評。百合子姫もここにきて解除を急いでいるように見えます。
- * 24. コロナ禍で歩く範囲はマイホーム (酔雅＝西川) → 3票
今の状況を的確に表していますね。散歩も人ごみを避け、家の周りを少し歩いてごまかすことが多いようです。優秀句に選ばれました。
- 25. 来世でも二人で歩む人生を (零門＝松谷) → 2票
羨ましい夫婦関係です。こう言ってもらえる奥様は幸せですね。作者は夫婦絡みの川柳が得意です。
- 26. 医者なのに健康法は歩くこと (だし＝大野) → 0票
歩行は健康法の基本だと言います。医者にかからないよう予防的効果もあります。筆者は10時間の大手術をした翌日には「さあ、歩きましょう」と看護師さんに促されました。みなさん元気に歩きましょう。

投句 13名 = 岩崎洋一郎 (不言)、大野ただし (だし)、曾山清徳 (酪帝)、細谷博 (損得)、西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、山縣正靖 (安兵衛)、松谷隆 (零門)、安藤晃二 (晃二)、塚田實 (拿々)、三春 (火酒)、八木信男 (明迷)

欠席 1名 = 平尾富男 (酔深)

投票 11名 棄権 3名

6月以降の予定とお題：

6月23日 (火) 「風」	9月28日 (月)	12月22日 (火)
7月27日 (月) 「傘」	10月27日 (火)	
8月25日 (火)	11月23日 (月)	